



2011年度聖句

受けるよりは与えるほうが幸いである
(使徒言行録20章35節)



いずみちゃん クラークくん
(クラーク学園和泉短期大学のマスコットキャラクター)

izumi ニュース Vol.12

和泉短期大学 広報渉外ユニット

発行責任者 理事長 深町 正信

〒252-5222 神奈川県相模原市中央区青葉2-2-1

TEL.042-754-1133 (代表)

URL <http://www.izumi-c.ac.jp>

1号館図書館にて

2012年度 クラーク学園和泉短期大学・同専攻科事業計画 2

特 集 本学におけるメディアリテラシー教育 3
子どもと保育総合研究所冬季セミナー開催報告 3

izumi TOPIC

- | | |
|--------------------------------|----------------------------------|
| ●活躍する卒業生②「夢中になって見えたこと」 4 | ●パークゴルフ体験教室開催 6 |
| ●いずみの思い出について 4 | ●「キャンパスショップYamazaki」オープン 6 |
| ●東日本大震災への募金総額のご報告 4 | ●第3回夏期リカレント講座のお知らせ 6 |
| ●学生ボランティア活動の報告 5 | ●第53回日本キリスト教社会福祉学会開催 6 |
| ●チャリティーゴルフのボランティアを通じて 5 | ●訃報:元クラーク学園評議員 長友武子氏 6 |
| ●学生食堂について 5 | |

2012年度 クラーク学園和泉短期大学、 同専攻科事業計画



学校法人 クラーク学園 和泉短期大学
理事長 深町 正信 (青山学院名誉院長)

次年度は本年度と同様に、国内のみならず国外においても、経済的に不安定な状況と先行き不透明感が一層増すことが予想されています。ヨーロッパのユーロ経済圏のみならず、米国もリーマンショック以来の経済不況が続いています。更に、昨年は東日本大震災、福島の原発事故により、日本は大災害を受け、その復旧作業は容易でなく、日本の経済も多くの課題を抱えています。国家予算額は1000兆円を超える赤字財政を余儀なくされています。そのような厳しい状況の中で、政界では消費税の増税の実施が検討されています。さらに、東京大学地震研究所の発表によると、東京を中心とする直下型地震が4年以内に発生する確率は70%を超えるとされています。

過日、行われた日本私立短期大学協会の理事長研修会、日本私立学校振興・共済事業団主催のリーダーズセミナー、私立大学協会新年賀詞交換会等での挨拶で得た情報によれば、今年度の私立大学関係の国庫助成額は東日本災害地の学校助成、学生への奨学金を除けば、例年に比べて大きな変化もなく、例年通りの国立大学の学生には一人当たり170万円、私立大学の学生には一人当たり17万円助成であるという報告がありました。

文部科学省に採用された本学の現代GP「大学生の就業力育成支援事業」は今年度で無くなりました。新たに2012年度は大学間の連携および産業界との連携のもとに、就業力の向上のための「大学間の連携及び産業界との連携事業」を採択することでした。つまり、大学間の単位の互換等の事業に対してあります。

前者については本学の学生のため、また、教員の教育、研究の向上のために、2012年度も引き続き実施し、その予算是従来の助成額の4分の1とし、本学として、次年度もこの事業の継続をすることしたい。

2009年度、2010年度、2011年度の本学の私学事業団の判定した経営判断指標は教育研究活動によるキャッシュフロー、運用資産と外部負債の関係、帰属収支差額（資産売却、

処分差額を除く）は、すべての項目で判定「(A)」の評価を得ることが出来たが、これは法人役員、教員、職員の協力の賜物と心からの感謝を申し上げたいと思います。

2012年度も本学は四つのクライテリアのもとに事業を推進してゆきたい。第一に、建学の精神であるキリスト教信仰に基づく人格の形成とその具体化に努力をしていくことになります。第二に、経営の健全化に工夫と努力を図ることになります。資産運用の困難な時代ですが、小さな努力を積み重ねていきたいと思います。第三に、本学における教育と研究のなお一層の充実を図ってゆきたいと考えます。第四に、本学についての評価を大切にして改善を図り、特に外部評価を積極的に受け止めてゆきたいと願います。これらの四つの点に照らしつつ、さらなるクラーク学園和泉短期大学の前進を図ってまいりたいと思います。

大学淘汰のブランド戦略としては「地元密着の大学」を目指して相模原市、大きくは横浜市を中心とする地元の高等学校との連携を一層強めていきたい。第二に、「養成型大学」として、将来、子どものための仕事や保育園、幼稚園、社会福祉施設で働きたいという願いに応えて、自分にとって、本当に生き生きと成長できる大学はどこかという、高校生が大学を選ぶ視点の変化に応じた学生の選抜を考えることを教授会に期待したい。施設、不動産等の健全な運用は今年度も一層重視し、建物、運動場、体育館、駐車場等の外部への貸し出しを積極的に行い、少しでも収入を得るように努めていきたい。

5号館「旧福祉専門学校の校舎」は出来れば外部に貸し出したいと願ってきたが、ごく最近になりやっと学校が外部貸し出しするに相応しい借り手が出てきたので現在交渉中であります。運動場については現在、いくつかのスポーツ団体に貸し出ししているが、維持費がかかるので、現在、原発事故により原子力発電に対する反対の空気が強い中で、ソーラーパネルによる太陽光発電を考え、そこをソーラーパーク（公園）としてはどうかとも考えて、種々の検討をしている。

結びに、本学のみならず、4年制大学においても中途退学者が国立大学の場合1600人（1年間）、私立大学では14000人（1年間）の中途退学者が出ていることは誠に憂慮に堪えない事柄である。和泉短期大学においても、全国レベルの平均よりやや高い数値の中途退学者が昨年度も出ています。日本中途予防研究所が公表している退学理由の中には経済的理由もありますが、主な理由としては、「学習意欲の喪失、人間関係の煩わしさ、自分の夢、関心の変化、不本意入学、精神と肉体の疾患、そして、在学中の妊娠、子育てのた

め」ということがあります。

和泉短期大学としてはこれまでにも学生の担任制、入学前教育、奨学金の充実、講義の充実、生活指導等に万全の対策を実施してきたが、今後は補講の充実、再試験、学生と両親との面談、学習相談等の機会を色々と検討していただくことを是非お願いをしたい。

結びに、聖書の言葉を引用して、終わることとしたい。「人の心には多くの計画がある。しかし、ことを定めるのはまったく主のなさることである」

本学における メディア・リテラシー（情報モラル）教育

准教授 大下 聖治

IT時代と言われる現在、情報の発信、受信がインターネットや携帯端末等を利用して自由に行え、社会的・文化的コミュニケーションの範囲も一昔前と比べると飛躍的に広がっています。膨大な量の情報を取り交わされ、情報自体が様々な価値をもって扱われています。しかしながら、その利便性と同時に利用者のモラルに起因して、情報発信、受信に伴うトラブルに巻き込まれる危険性も高まっています。個人情報の安易な扱いや不適切な情報の発信等、学生本人も気付かないうちに様々なトラブルの輪に巻き込まれ、加害者、被害者といった立場になってしまふかもしれません。保育者養成校としての本学においても、学生たちの情報モラルに関する育成が必要かつ急務となっています。そのため、新設科目の「キャリアデザインA」において、年度開始早々に「メディア・リテラシー」をテーマに、「情報発信に伴う責任・個人情報の流出・誹謗中傷・プライバシーの侵害・著作権の尊重・トラブルに遭った際の対応」を中心とした内容で、専門家を招いて講演を行っております。またグループアドバイザーを通じ、グループミーティング等で必要に応じて注意喚起しており、全学を挙げた学生の情報モラル育成に取組んでおります。2012年度入学予定者に対しても、入学前教育の段階より注意喚起がなされ、情報モラル育成の取組が始まっています。

子どもと保育総合研究所冬季セミナー開催報告

准教授 松浦 浩樹

なび>と、それ以降の<学び>の繋がりを捉え直すための議論が活発になされ、有意義な時をもつことができました。

シンポジスト、及び指定討論者、実践報告者の詳しい情報は、和泉短期大学、あるいは子どもと保育総合研究所のホームページでご覧下さい。



活躍する卒業生②

夢中になってみえたこと



幼稚園に勤めて、二十数年。沢山の子ども達と出会い、夢中になって過ごしてきました。未就園児教室、年少・中・長の子ども達との毎日…。しかし、どんな状況であっても自分が夢中になって関われば、子ども達はその気持ちに応えてくれる…という思いは、今も昔も変わっていません。

私が先生一年目の時、先輩の先生のクラスと、自分のクラスの様子が違うと思っていました。改めて考えた時、自分が同じ目線でなかった事や、先頭になって楽しさを伝えていなかった事に気づきました。周りから見ると、「そこまでしなくとも」と思われる、共に汗を流し、大笑いし、悔しさを表に出すことで、子ども達のやる気も倍増するのです。夢中になっている中で、失敗や間違いが出てしまった時にも共に考え、解決策を見つける事で、更に確かな関係が築けると思います。いつまでも、夢中になれる先生でありたいと思います。

(1985年3月卒)

いずみの思い出について

私が和泉短期大学で「子どもの保健(名称は年によって変わりました)」の講義の依頼を昭和58年にいただいて以降、多くの若い学生さんに教えさせていただく機会を得て、平成24年までお世話になり感謝申し上げます。小児科の医療現場での内容を中心に話させていただきましたが、東京大学医学部卒の医師であると話すと、学生さんはびっくりされて、逆に非常に光栄で、とてもうれしかったです。最新の医療内容の一端を少しでも理解してもらいたいとの気持ちでの講義であり、授業中の多少の私語はそれほど気になりました。今まで通年で、1万人以上の学生さんに講義させていただき、その方たちが卒業後、いろいろな現場で、また、ご自身の家庭で、私の話を少しでも役立ててもらえば幸いです。もっと長く教えさせていただきたいと思っていたので、和泉短期大学を去ることは非常に残念です。でも、また何かの機会にござるよろしくお待ちしております。いろいろどうもありがとうございました。

国立成育医療研究センター 成育政策科学研究所 部長

小児科専門医 医学博士

本学非常勤講師

加藤 忠明



東日本大震災への募金総額のご報告

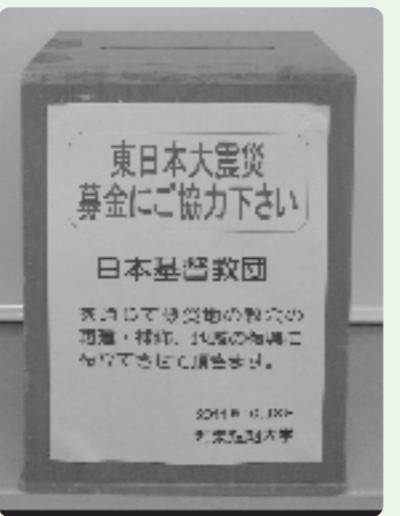
和泉短期大学は東日本大震災により被災された方々へ微力ながらできることを実践するため、学内に設置した募金箱とチャペルアワーの献金を加え、「緊急支援募金」として下記の団体等に送金いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

皆様のご協力に感謝いたしますとともに、被災された方々の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

東日本大震災義援金額

2011年 5月	特定非営利活動法人チャイルド・ファンド・ジャパン	181,404円
7月	キリスト教保育連盟	51,000円
7月	キリスト教学校教育同盟	20,000円
2012年 3月	日本基督教団(うち礼拝時献金 6,000円)	30,000円
合 計		282,404円

(2012年2月末日現在)



学生ボランティア活動の報告

12月12日(月)ボランティアサークルの学生を中心に、10名の1年生が、相模原中央支援学校でボランティア活動を行いました。当日は、支援学校の授業に学生が参加させていただく形で進められました。具体的な支援の内容は右記の通りです。



①「歌など」グループ

対象: 幼稚部
参加: 視覚障害部門幼稚部 2名
小学部肢体部門3年生 4名 計6名
場所: 自立活動室

②「段ボールを使った劇」グループ

対象: 小学部
参加: 小学部知的障害部門4・5年生 6名
小学部知的障害部門6年生 5名 計11名
場所: 小学部知的障害部門多目的室

③「読み聞かせ」グループ

対象: 中学部
参加: 中学部知的障害部門1年生 9名
中学部知的障害部門2年生 1名 計10名
場所: 中学部知的障害1年2組教室
(於: 相模原中央支援学校)

チャリティーゴルフのボランティアを通じて

高梨 瑞穂

2011年11月29日(火)~30日(水)、私を含め計6名の学生と共に、茨城県にて行われた、元巨人軍コーチ 篠塚 和典さんが主催する「チャリティーゴルフ」というイベントのスタッフとして参加しました。

このチャリティーゴルフは、集まったお金をアジアを中心に貧困の中で暮らす子どもの健やかな成長、家族と地域の自立のための資金としてお送りするための活動です。

二日間に渡ったこのボランティアを通じて、私たちは他では学ぶ事、体験する事のできない多くのものを得ることができました。活動内容的にはハードスケジュールだったため一日中動き回り、睡眠時間も少なく、体力的には厳しい部分もありました。しかし、何かひとつの目標のためにスタッフ全員で協力し、支えあう事で一回り、二回り成長しながら達成感とともに乗り越えることができました。このような機会を与えてくださったことに感謝の気持ちでいっぱいです。



学生食堂について

昼食ご提供のコンセプト



シダックスフードサービス株式会社
横浜支店 課長 盛 健一

和泉短期大学の学生皆さんにとって、大切な思い出のひとつになる食堂。学生様のみならず教職員様のご利用も多いため、バランスの取れたメニューに沿って運営を行なながらも、若い学生層にあわせ、トレンドを意識したメニューを心がけております。

弊社の企業理念「マザーフード」の考えにもとづき、「母なる地球が育んだ豊かな大地と海の恵みを、すべてのお客様に母親のように真心をこめてお届けする。」をコンセプトに和泉短期大学の皆さんへの愛情を真剣に考え、これからも明るく笑顔でお食事をご提供して参ります。



利用学生の声

井原 輝

私はクラスのメンバーや他のグループのメンバーと食堂を利用することが多かったです。

そのような中でも食事を通じていろいろな人の交流が出来た事から、食堂はただ食事をするだけではなく、自分のグループや別のグループの方、先生や食堂の方との良き交流の場所であったと感じています。

食堂の学食メニューについて

沼田 未彩紀

和泉の学生はよく学食を利用します。学食はとても安くておいしいのでお昼休みの食堂はいつも学食を利用する学生であふれています。御膳や丼物、そば・うどんなどのメニューが日替わりとなっています。そのほかにもフライドポテトや唐揚げ、揚げパンなどがあります。全て安いです。

パン・キンオムライスは一瞬にして売り切れました。丼物やパスタは人気で、すぐに売り切れてしまいます。皆さんもぜひ利用してください。

パークゴルフ体験教室開催

2012年1月29日(日)、和泉短期大学芝地グラウンドでパークゴルフ体験教室が開催されました。パークゴルフのルールはゴルフとほぼ一緒。専用のパートとボールを使い、初心者からお年寄りまで幅広い年代層で楽しめるところが“コミュニティスポーツ”と呼ばれる理由です。

体験教室では親子連れも多く、チーム(3~4名)の顔ぶれはさまざま。あるチームでは小さなお子さんがホールインワンを達成して大喝采。また、弥栄から初参加の女性は、「ゲートボールもするけど、みんなで出来るパークゴルフは本当に楽しいですね」と、その魅力にすっかりはまっていました。今後も定期的に開催される予定です。



和泉短期大学売店が 「キャンパスショップYamazaki」 としてリニューアルオープン。

1号館コミュニティーサロン内に設置の売店が、2012年4月2日にリニューアルオープンします。ミニコンビニエンスストア設置は、学生から長年の要望もありました。今回、食堂を経営している株式会社シダックスの協力により、実現しました。商品も豊富に揃えていますので、学生生活の身近なショッピングになることを期待しています。



第3回夏期リカレント講座(2012年度) 講演とワークショップ開催のお知らせ

開催日
2012年7月31日(火)

本年も昨年も引き続き、本学卒業生を含む保育者・介護者を対象に、夏期リカレント講座を開催する運びとなりました。常に新たな情報を取り入れながら、「子どもと高齢者の幸せ」を追求する「真」の保育・介護の実践的・実際的学びを目指し、皆様と共に学び合いたいと思います。全体講演会とワークショップ形式による学びと現場の情報交換によって、お集まりくださった皆様にとっての良き研修の時となりますよう願っております。多数のご参加をお待ち申し上げます。

2つの
講演を
聞くことが
出来ます

●午前の部(受付9:30より) 10:00~12:00(全体会:講演会)

講演1 「子ども・子育て新システムー幼保一体化に向けてー」

講師:厚生労働省雇用均等・児童家庭局 保育課 課長補佐 萩原 和宏 氏

講演2 「認定こども園を運営して」

講師:渕野辺ひばり幼稚園(相模原市) 園長 八木 肇 氏

5つの
講座から
1つ選択
してください

●午後の部(受付12:30より) 13:00~15:00(分科会:ワークショップ)

① 「子どものリトミック③—プラスティック・アニメの技法を学ぶ—」(武石 宣子)

② 「絵の具遊び」(佐藤 守男)

③ 「冒險あそび」(井狩 芳子)

④ 「子育てひろばの実践」(平田 美智子)

⑤ 「介護技術」(佐久間 志保子)

なお、受講料は全日参加は3,000円、午前または午後ののみの参加は2,000円。受付期間についてはお問い合わせください。また講師は都合により変更になる場合がございますので、ご了承ください。

第53回日本キリスト教社会福祉学会が本学にて開催

宗教部長 准教授 横川 剛毅

来る6月22日(金)、23日(土)の両日、「今日におけるキリスト教社会福祉の役割—希望の光が見える新たな社会づくり—」をテーマとして、日本キリスト教社会福祉学会の第53回大会が開催されます。会場である本学に、日本全国から会員の方々が集まります。

この学会は、1960年に設立された歴史の深い学会です。この大会が、大震災による困難を今も抱える人々、社会的孤立や孤独など社会から排除されている人々に対する学会の役割を見出せる時となるよう、祈りながら準備を進めています。

訃報

元クラーク学園評議員 長友武子氏が2011年10月23日(日)に召天されました。(享年96歳)
故人のご逝去を悼み、ここに謹んでお知らせを申し上げます。

長友 武子氏 略歴

1915年7月11日生	
1936年3月	女子美術専門学校高等科日本画部卒業
1939年4月	川崎市立小学校图画専科教員
1949年4月	橋本ドレスメーカー女学院長 橋本保育園長
1956年4月	学校法人長友学園理事長 橋本幼稚園園長

1963年4月～1975年3月	相模原市議会議員 3期(12年) 副議長を歴任
1974年3月	相模原市幼稚園協会会長(在職6期)
1976年4月	全国学校法人幼稚園連合会常任理事 神奈川学校法人県幼稚園連合会会长
1978年4月	学校法人クラーク学園評議員就任
1982年3月	学校法人クラーク学園評議員任期満了(2期4年)

学園関係者一同、ご家族の上に慰めと平安がありますようお祈りし、衷心より深く感謝申し上げます。